

学校法人小寺学園  
令和4年度 事業計画企画書

報告書作成日 2022年4月1日

| 基礎情報内容  | 実施園情報   |
|---------|---|
| 法人名     | 学校法人小寺学園                                      |
| 理事長名    | 秦賢志   |
| 園名      | 幼保連携型認定こども園はまようちえん / 企業主導型保育事業はまようちえんナーサリールーム |
| 園長名     | 小寺由起  |
| 担当者名    | 役職名: 教頭 氏名: 樋口詩菜                              |
| 住所      | 〒661-0967 兵庫県尼崎市浜2-2-13                       |
| 電話番号    | 06-6499-4919                                  |
| FAX 番号  | 06-6499-4931                                  |
| メールアドレス | infoa@hama.ed.jp                              |
| 園児数     | 206人  |
| 学級数と人数  | 認定こども園ようちえん7学級167人 ナーサリー30人 / ナーサリールーム9人      |
| 教職員数    | 61人   |

|         |  |
|---------|--|
| 本園の教育目標 | わたしになる。ぼくになる。<br>つよく。かしこく。うつくしく。おもしろく。 |
| 今年度重点目標 | ① THE 広報部（はまよういいところアピール）               |
|         | ②新指導計画データベースによる記録の運用                   |
|         | ③ミドルリーダー（スペシャリスト）の資質向上                 |
|         | ④キンダーカウンセラー制度を生かした特別支援教育の充実            |

|          |                          |
|----------|--------------------------|
| 今年度の重点目標 | ① THE 広報部（はまよういいところアピール） |
| テーマ      | HAMAYOU Self Branding    |

達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標

自園のいいところをアピールする質や量を向上させることにより、外部の人がはまようちえんのいいところを発見し、見たい（SNS 閲覧数）、知りたい（SNS 検索数）、行ってみたい（園見学数）人が増えることを目指す。

企画意図 CONCEPT 目的 目標 コンセプト めざす方向

**【背景】**

- ・今年度の1号認定児入園児数が24名となり、昨年度新入園児数51名と比較して、47%大幅に減少した。
- ・近年、採用試験にエントリーする学生が毎年数名に留まっており、はまようちえんの魅力が学生に伝わっていない。
- ・保護者から、園での子どもの様子をもっと知りたいというご意見が保護者アンケートで上がっていた。

**【目的】**

- ①はまようファンづくり！
- ②広報部員の、はまようスタッフとしての誇り（Profaith）が深まる。

**【目標】**

- ①はまようのいいところ発見！！見たい（閲覧数）知りたい（検索数）行ってみたい（園見学数）を増やす。
- ②広報部員がはまようのいいところを自分の得意なツールで語れる

**【コンセプト】**

good sPiral , big Relation

実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか

**【プロジェクトメンバー】**

リーダー：樋口詩菜  
 サブリーダー：岡・樋口知華  
 部員：大野、小林、中山、田中、原田、松尾、宮石、渡部、長尾

**【どのように】**

リクルート、動画編集、ドキュメンテーション、SNSの4チームにわかれて学期に1回以上のミーティングを実施。はまよう保育のPR方法についてアップデートを行う。

|          |                            |
|----------|----------------------------|
| 今年度の重点目標 | ②新指導計画データベースによる記録の運用       |
| テーマ      | はまよう保育に有用な指導計画の作成～ part2 ～ |

| 達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標  |
|---|
| <p>データベース化した指導要録に記録をとり、だれでも運用しやすい形式に整える。</p>  |
| 企画意図 CONCEPT 目的 目標 コンセプト めざす方向  |
| <p><b>【背景】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6名のメンバーが一昨年度退職し、4名の新メンバーと3名の育休復帰組を迎え入れ、メンバーの入れ替わりが多くなった昨年度。指導計画をこれまで以上に誰が見てもわかりやすい記録へと再構築することで、はまよう保育の大切にしていることを再確認し、新しいメンバーが具体的な見通しを持って保育に取り組むことができるような記録へのアップデート意識が高まった。</li> <li>・保育活動の記録が書面にてファイリングされており、過去の記録を閲覧するために、記録の量が多すぎて必要な情報を見落とししたり、解釈違いを起こしたりするなどの問題があり、記録を整理することの必要性を感じている。</li> </ul> <p><b>【目的】</b></p> <p>保育のねらいに基づく具体的な見通しをみんなが意識することで、より質の高い保育を創造する。</p> <p><b>【目標】</b></p> <p>書面での記録をデータ化し、だれが見てもわかりやすく検索しやすい指導計画のフォーマット作成と運用。</p> |
| 実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか   |
| <p><b>【プロジェクトメンバー】</b></p> <p>岡・田中・樋口詩菜・樋口知華・松尾</p> <p><b>【実施内容】</b></p> <p>新しいデータベースに全スタッフが記録することで、現状と課題を共有し記録のフォーマットを運用しやすい形式に整理。</p> <p>学期に1回以上、以下の方法で見直しを行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①部門ごとのふりかえりミーティング</li> <li>②プロジェクトメンバーで全部門の課題共有ミーティング</li> <li>③データベースをアップデート</li> </ol>  |

|          |                        |
|----------|------------------------|
| 今年度の重点目標 | ③ミドルリーダー（スペシャリスト）の資質向上 |
| テーマ      | 自分の強みと経験を活かして、チームに貢献！  |

| 達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標   |
|--|
| <p>10年以上の経験者であるノンリーダーを「スペシャリスト」という役職に任命し、チームの中での自分の強みを再確認し、具体的な貢献へのイメージを持ち、現場実践に活かす。</p>   |
| 企画意図 CONCEPT 目的 目標 コンセプト めざす方向   |
| <p><b>【背景】</b><br/>昨年度は、ミドルリーダー向けの園内研修やミーティングを充実させ、ミドルリーダーの資質向上につなげた一方で、ミドルリーダーと同等以上の経験を持つ、ノンリーダーへの研修やミーティングの機会が少ないという課題があった。分散型リーダーシップを機能させていくにあたり、ミドル層（スペシャリスト）がリーダーと連携し、保育の質向上を目指したい。</p> <p><b>【目的】</b><br/>スペシャリストが、チームの中での自分の強みを再確認し、具体的な貢献へのイメージを持ち、現場実践に活かす。</p> <p><b>【目標】</b><br/>スペシャリストとして求められていること・大切にしたいことについて学び、自身の行動を振り返り、自身の強みを確かにする。</p> |
| 実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか  |
| <p><b>【いつ】</b> 学期1回以上</p> <p><b>【誰が】</b> スペシャリスト 計8名</p> <p><b>【どのように】</b><br/>現場実践での現状と課題から、スペシャリストに向けて秦・樋口詩菜が研修を企画し、スペシャリストに求められていること・大切にしたいことについて学ぶ機会とする。</p>   |

|          |   |
|----------|---|
| 今年度の重点目標 | ④キンダーカウンセラー制度（私立幼稚園子育て支援カウンセラー事業）を生かした特別支援教育の充実 |
| テーマ      | 一人ひとりに合わせた個別の支援（関わり）について考えを深める。                 |

達成目標 GOAL 達成したい目標 評価目標

現場の保育者が悩んでいる子どもへの関わりについて臨床心理士から具体的なアドバイスをいただき、解決への糸口を見出す。

企画意図 CONCEPT 目的 目標 コンセプト めざす方向

**【背景】**  
 園の保育者だけで話し合っても子どもの理解が難しいケースや、特別なサポートが必要な子どもについて、専門的な（臨床心理士目線での）アドバイスから、その子に合った関わりや、保護者支援を深めたい。

**【目的】**  
 臨床心理士の視点で、個々に応じた関わりについてアドバイスいただき、一人ひとりに合わせた個別の支援（関わり）について考えを深める。

実施計画 PLAN いつ どこで 誰が どのように実施するのか

**【いつ】** 月1回（年12回） 9:00-14:00

**【誰が】** 臨床心理士、園長、教頭、対象児の担任

**【どのように】** 臨床心理士による、保育観察と面談を通して、園児への関わりについて具体的なアドバイスをいただく。